



財団法人 岐阜県文化財保護センターだより
<http://www.maibun.gifu-net.jp>

三田洞本部・整理所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1
 Tel.058-237-8550(代) Fax.058-237-8551
 e-mail.gifu@maibun.gifu-net.jp

飛騨出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張字峠1425-1
 Tel.0577-72-4784 Fax.0577-72-4690
 e-mail.hida@maibun.gifu-net.jp



上岩野遺跡出土 有孔罎付土器

も く じ

表紙	巻頭グラビア	1	センターピックアップ①	文化財保護センターに行こう！(三田洞整理所教育普及事業)・岐阜県新発見考古速報2002	6
センターレポート①	夢中になった！わくわくドキドキ考古学体験・見学	2・3	センターだより	インフォメーション・センター日誌・編集後記	7
センターレポート②	ぎふ発！2002発掘調査最前線 発掘現場へ行こう！part1～飛騨・美濃(東部)編～	4・5	センターピックアップ②	博物館常設展示紹介・出前授業PR	8



満載！『考古学体験活動』



夢中になった！わくわくドキドキ 考古学体験・見学



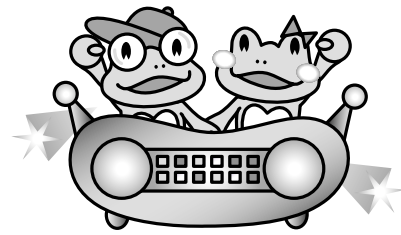
発掘風景

当センターでは、夏休みを利用して、青少年を対象にしたさまざまな体験学習 事業を行っています。今年も各地の小学生や中学生、さらには高校生が、発掘体験などにチャレンジ しました。また希望された方々には遺跡見学会を行っています。この夏もさまざまな方々 が遺跡見学をされました。

タイムスリップ探検隊・飛騨に参加のみなさん



いにしえにロマンを求めて タイムスリップ探検隊



あっ、土器だ！見つけたぞ！

今年も美濃の上恵土 城跡・浦畑遺跡（可児郡御嵩町）、飛騨の野内遺跡（高山市上切町）の2遺跡で「タイムスリップ探検隊」と題した親子発掘体験活動を行いました。それぞれの遺跡で午前中に発掘体験を行いました。また午後には、美濃では中山道みたけ館で、飛騨では風土記の丘学習センターで、見つけた遺物を洗ったり拓本を取ったりしました。

どちらも暑い中での活動でしたが、目を輝かせて活動に取り組んでいたのが印象的でした。「あっ、昔の茶碗のかけらを見つけた！」「拓本、うまくできた！」などと大きな歓声もあがり、大昔の世界にタイムスリップした1日でした。



結団式の様子

どんな活動が始まるのかな？

何がでてくるかな



発掘風景

★ ★ 体験いっぱいの日程！ ★ ★

9:10	結団式
9:45~11:45	発掘体験 (前半・後半にわけて行いました。)
13:15	施設見学・整理体験 美濃：中山道みたけ館にて 飛騨：風土記の丘学習センターにて (施設見学、遺物の洗い、拓本とり)
15:40	解団式



発掘風景

やったあ、見つけたぞ！

きれいにうつつたよ！



拓本体験

学校の授業の中で 発掘体験学習

8月2日に巣南中学校の生徒23名が藤橋村の榎原村平遺跡を訪れました。社会科の特別授業として発掘体験学習に参加を希望した皆さんです。2組に分かれて交替で、縄文時代遺跡の発掘体験と土器の拓本づくりに取り組みました。どの生徒も訪問前によく勉強をしており、はじめからやる気満々でした。どんどん質問をしたり、目を輝かせて進んで活動する姿が見られました。

また8月19日には岐阜県立関高等学校の2、3年生5名が美濃加茂市下米田町の深渡A地点・B地点遺跡を訪れ、発掘体験学習をしました。社会研究部の生徒で、秋の文化祭の発表に向けての活動でした。家の近くで鍬を拾ったことがある



拓本体験の様子

生徒もいましたが、遺跡現場に来るのは初めての生徒ばかりでしたので、古い時代の溝や山茶碗などの遺物を見て、時代の流れを感じていました。また、ねじり鎌を持って発掘に挑戦。遺物が出てきたときはうれしそうでした。

学習の場として活用していただくセンターとして、とてもうれしく心に残る一日でした。



発掘体験の様子

広くみなさんに 遺跡見学会

8月には、揖斐郡藤橋村の旧徳山地区の遺跡への見学が相次ぎました。8月19日(月)には揖斐郡の揖斐川町立清水小学校の先生方が榎原村平遺跡を見学されました。山際には中世の土坑が、また南西部には縄文時代の炉跡や土坑が多くみつかっており、みなさん興味深く見ていかれました。8月22日(木)には本巣郡の小学校理科研究会の先生方が塚奥山遺跡の見学をされました。ここでは縄文時代早期のものと思われる焼けた礫がいっぱいあった土坑を見て、「この時代の人々はどのように調理したのだろう」と、当時の人々の暮らしについて思いをはせておられました。



遺跡見学の様子(塚奥山遺跡にて)

昔の茶碗、お皿、カワラなど、自分の手で掘って見つけたし、自分の目の前でしっかりとさわれて、すごくよい経験になったと思います。(中略)見つけたときは、土や泥がついていてわかりにくかったけど、洗って色がはっきりして驚きました。暑かったけど、汗をいっぱい流して一生懸命取り組めてよかったです。この茶碗は、いったい、どんな人が使っていたのだらうと思いました。

御嵩小5年 生駒珠里

特集

発掘現場へ行こう！



秋が深まっています。本当に1年が経つのは早いものですね。前号で紹介した発掘現場の最新情報part 1をお届けします。飛騨地方の2遺跡、美濃地方の2遺跡を紹介します。

part 1

～飛騨・美濃(東部)編～

平安時代の集落跡が見つかる！

野内遺跡 (高山市)

古代 地図内記号：P

この遺跡は山のふもとのゆるやかな南向き斜面にあります。今回の調査では、平安時代の集落の跡が見つかりました。これまでに見つかった竪穴住居跡は20軒余りです。



見つかった灰釉陶器



竪穴住居跡を掘っている様子

そのほとんどには煮炊きを行った竈の跡があります。遺物も多く、特に灰釉陶器や須恵器が多く出土しました。そのほかにも、当時の高級な陶器である緑釉陶器、鉄製品をつくる時に使った鞆の羽口(送風管のこと)や鉄を加工するときに出る鉄滓(鉄のカスのこと)なども見つかりました。当時に力をもったものが住んでいた可能性が考えられます。

平安時代の鍛冶遺構が見つかる！

西ヶ洞廃寺跡 (吉城郡古川町)

縄文 弥生 古代 地図内記号：R

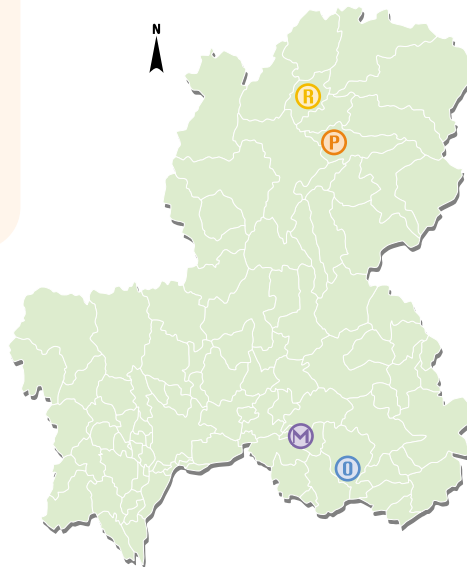


建物の礎石

この遺跡は、殿川に面した丘陵の南斜面にあります。今回の調査では、平安時代の建物の礎石と鍛冶遺構が見つかりました。礎石は、1m前後の大きなものを2つ確認しました。鍛冶遺構は、焼土や鍛冶炉、金床石、砥石や鉄滓が見つかったことから、確認することができました。見つかった焼土面は、鍛冶作業を行った痕跡と考えられます。刀子(小刀)と思われるものも見つかっていて、鉄器を製作していたと考えられます。廃寺との関係はまだはっきり分かりませんが、少なくとも土師器甕・鍋などが見つかることから、ここが生活の場となっていたとも考えられます。



鍛冶遺構の1つ 焼土



各遺跡現場の見学を希望される方は、センター調査部までお気軽にお問い合わせ下さい。

鎌倉時代の古窯跡2基が見つかる！

土岐口西山古窯跡群 (土岐市)

中世 地図内記号：O

鎌倉時代前半(約700~800年前)の山茶碗を焼いた窯跡2基(3・4号古窯跡)が見つかりました。これらは、土岐市街地南西の丘陵部南斜面にあります。4号古窯跡は、燃烧室の床面が40cmほどかさ上げされていました。また、窯跡の東方の尾根上では、粘土溜まり・焼土・山茶碗の破片などが見つかり、このあたりが陶器づくりを行った「作業場」として利用されていたと考えられます。この古窯跡からは、おもに山茶碗、小皿が見つかり、ほかにも多様な器種が焼かれました。なかでも釉薬が施されている洗・壺などの「古瀬戸」と呼ばれる陶器が見つかりました。



2基の窯



山茶碗や小皿



室町時代～江戸時代の水に関する遺構が見つかる！

上恵土城跡・浦畑遺跡 (御嵩町)

中世 近世 地図内記号：M

上恵土城跡と浦畑遺跡は、木曾川と可児川に挟まれた河岸段丘の上にあります。となりあわせの遺跡で、上恵土城は戦国時代に長谷川五郎右衛門という人物の居館であったことが分かっています。残念ながらその城に直接関わる遺構は見つかりませんが、室町時代から江戸時代にかけて、掘立柱建物跡を2軒と深さ約2m程の井戸や水溜8基が見つかりました。井戸や水溜が多いのは、この辺りは地下水位が高く、比較的水を得やすい場所であったためと考えられます。また、溝や井戸・水溜の中からは、山茶碗や近世陶磁器が多数出土しました。

ぎっしり石のつまった溝



調査区 空撮

日本の時代区分表

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

古代

中世

近世

近・現代

(注) 日本の旧石器時代の始まりについては、現在、再検討されています。よって、本紙では、新たな見解が発表されるまで、年代の記載を中止いたします。また、縄文時代の始まりについては、ほかに約13000年前など、いくつかの説があります。

約12000年前(100年を5mmで表現すると、縄文時代は約50cmになります)

約2300年前

約1700年前 飛鳥時代 奈良時代

1192 1333 1573 1603 1868 安土・桃山時代 大正



説明を聞く中学生

文化財保護センターに行こう！

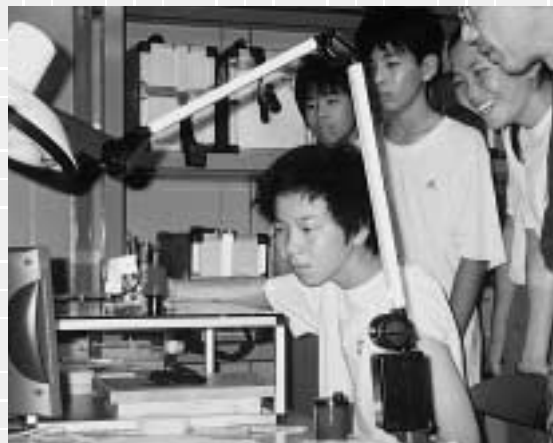
夏休みも真っ最中の7月30日、職場体験のため、岐阜市立青山中学校2年生5名がセンターを訪れました。

センター内の整理所では、発掘調査によって見つかった遺物や住居跡などの遺構の記録(図面など)をさらに慎重に調査を行い、「報告書」としてまとめるまでの仕事を行っています。バラバラになっている土器のかけらを一点一点つなぎ合わせて、元の形に復元する作業。土器の形を正確に図化する実測作業。「僕たちが教科書などで

見ているものにするためには、すごく手間と時間がかかるのだなと思いました。」と感想を語る中学生。作業員の仕事を真剣な眼差しで見学する姿が印象的でした。午後からは、実際に土器の実測作業を行いました。調査員から実測方法の説明を受け、作業員のマンツーマン指導のもと1時間半かかって1つの土器を描き上げました。「ストレスがたまるほど長い時間ずっと机に向かっていて、ヘトヘトになって描き上げたのがたったの1枚……」実際の縄文土器を手で触れて目を輝かせて質問してくれた人もいました。

短い時間でしたが、郷土の歴史に興味を持っていただけたらと思っています。

センターではこうした職場体験や見学のほか、研究資料として直接遺物をご覧になりたい方にはセンターで見学していただいています。お気軽にお問い合わせ下さい。



実測体験風景



岐阜県新発見考古速報2002 ひらかれる！

平成13年度に県内で行われた発掘調査は、17市町村40遺跡です。その発掘成果をみなさんに知っていただくための「岐阜県新発見考古速報 2002」が、7月13日に美濃市文化会館で行われました。プロジェクターなどの最新の機器を使い、画像によってわかりやすく説明がなされ、とても好評でした。報告された事例は、以下の通りです。また、「岐阜県の城と日本城郭史」と題して、岐阜県中世城館総合調査指導委員で大阪大学名誉教授の村田修三氏の講演が行われました。大垣城などの身近な資料により、わかりやすく説明がなされました。

☐ 「重竹遺跡(関市)・上西田遺跡(美濃市)」(財)岐阜県文化財保護センター 長谷川幸志
(鎌倉時代の鍛冶関連遺構や中世～近世にかけての居住区の変遷などについての説明がありました。)

☐ 「末洞遺跡(関市)」関市教育委員会 伊藤聡氏 (下有知地区における古墳時代の集落の全体像がわかりやすく報告されました。)

☐ 「柿田遺跡(可児市・御高町)」
(財)岐阜県文化財保護センター 小野木学
(網代や部を使った灌漑施設跡など、遺跡のスケールの大きさがうかがわれました。)

☐ 「渡来川北遺跡(美濃市)」
美濃市教育委員会 高木宏和氏
(縄文時代草創期の石器製作址や水場遺構など、全国レベルの貴重な遺跡の説明がなされました。)



遺物を見ている参加者



発掘成果をみなさんに！

県博物館で発掘速報展を開催します

今年度も、発掘調査の成果をみなさんに知っていただくために、岐阜県博物館において「発掘速報展 ～いにしへの美濃と飛騨～」を開催します。美濃からは8遺跡、飛騨から2遺跡の計10遺跡約350点の遺物を展示紹介します。大野郡清見村の上岩野遺跡で大量に見つかった縄文土器や土偶、関市下有知の重竹遺跡で見つかった中世の屋敷跡や刃物づくりの跡、それに関連する遺物など、みどころがたくさんです。また、奈良女子大学教授の広瀬和雄先生をお招きして記念講演会も予定しています。ぜひお越しください。

【と き】 11月16日(土)～12月15日(日)

午前9時30分～午後4時30分

*ただし入館は16:00までです。

【と ころ】 岐阜県博物館(関市小屋名の百年公園内)

【記念講演】 12月1日(日)午後1時30分～

「古代の開発～人と自然の格闘の歴史～」
奈良女子大学教授 広瀬和雄氏

【入 館 料】 一般320円(260円) 大学生110円(50円)

小・中・高校生は無料

()内は20名以上の団体料金



・東海北陸自動車道
関インターから車5分
・名鉄美濃町線
小屋名駅下車徒歩15分
・岐阜バス
岐阜上之保線、八幡線、千足太平台タウン線
小屋名バス停下車徒歩15分

百年公園北口駐車場(約300台収容)をご利用ください。
博物館までの徒歩が困難な方は北口ゲートでお申し出ください。

発掘現場の様子をみなさんに！

発掘調査の現地説明会を各地区で行っています。9月29日には土岐市の土岐口西山古窯跡群で、10月12日には高山市の野内遺跡をみなさんに公開しました。多数の方々に参加していただきました。両遺跡の紹介は4、5ページにあります。なお、今後の現地説明会の予定についてはセンターホームページをご覧ください。



土岐口西山古窯跡群にて

7月	10 社会科特別授業講師派遣(兼南町立兼南中学校)
	13 岐阜県発掘調査報告会(美濃市文化会館)
	22 三重県立度会高等学校 奥義次氏 塚奥山遺跡(藤橋村)出土遺物指導
	26 国際日本文化研究センター教授 宇野隆夫氏 一本杉遺跡他(美濃市)指導
	30 岐阜市立 青山中学校2年生5名職場体験(本部整理所)
	31 親子発掘体験 タイムスリップ探検隊・美濃(上恵土城跡・浦畑遺跡〔御高町〕23組50名参加)
8月	1 丸石古窯跡群(土岐市)出土の「人物像頭部」記者発表
	2 兼南町立 兼南中学校 生徒30名 発掘体験 榎原村平遺跡(藤橋村)
	6 国立岐阜工業高等専門学校 水野耕嗣氏 柿田遺跡(可児市)出土遺物指導
	7 親子発掘体験 タイムスリップ探検隊・飛騨(野内遺跡(高山市))22組52名参加)
	8 学校法人 雲雀丘学園・高等学校 大下明氏 尾元遺跡(藤橋村)出土遺物指導
	19 揖斐川町立 清水小学校 職員10名 遺跡見学 榎原村平遺跡(藤橋村) 県立関高等学校 生徒5名 発掘体験 深渡遺跡(美濃加茂市) 遺跡見学 上恵土城跡・浦畑遺跡(御高町)
	20 県立関高等学校 生徒5名 整理体験 本部整理所
	22 本巣郡 学校教育会理科部30名 遺跡見学 塚奥山遺跡(藤橋村)
	27 南山大学教授 伊藤秋男氏 土岐口西山古窯跡群(土岐市)指導
	29 愛知県教育委員会 文化財保護室 原田幹氏 柿田遺跡(可児市・御高町) 出土遺物指導
	30 瀬戸市埋蔵文化財センター 藤沢良祐氏 土岐口西山古窯跡群(土岐市)指導
9月	3 岐阜県教育委員会 教育長 日比治男氏 講話
	9 国際日本文化研究センター教授 宇野隆夫氏 栗坪遺跡(美濃市)指導
	11 富山県埋蔵文化財センター 関 清氏 西ヶ洞廃寺跡(古川町)指導
	29 現地説明会 土岐口西山古窯跡群(土岐市)(73名)

あとがき

秋本番となり、各地の博物館や資料館などでは、歴史や文化財の展示イベントがごぞって開催されています。センターの掲示板もポスターでいっぱいです。毎週どこかへ出かけても見切れないほどの数です。どこも盛況なんだろうかと心配になります。

開催する側にとっては、一人でも多くのみなさんに見に来ていただきたいと、知恵と労力をしぼって準備してきたものばかりです。しかし近年は「費用対効果」が重視され、いかに内容に価値や獨創性があっても入場者が多く集まらなければだめであると評価されます。つまり「数字」がすべての基準になりつつあります。「数字」=「見る側のニーズに応えた成果」となるように自問自答しながらの毎日です。

「発掘速報展」にぜひおいでください。

県博物館常設展示

関市小屋名の岐阜県博物館では、3月まで飛騨地方で出土した縄文時代の土偶や装身具を展示しています。



展示ケース①には、縄文時代中期(約5千年前～4千年前)の後半の土偶を展示しています。丹生川村の「岩垣内遺跡」から出土したものです。中期の土偶はその安定した足でしっかり立つものが多く、目鼻だちもだんだんはっきりしてくるようです。両腕はバンザイをしているかのように上がっているものが多いです。アニメのガンダムのような下半身や、映画のスターウォーズに登場するダース・ベイダーのような頭もあるので、探してみてください。

展示ケース②には、縄文時代後期(約4千年前～3千年前)の中頃の土偶と装身具を展示しています。丹生川村の「西田遺跡」から出土したものです。頭部が山形に盛り上がっているため「山形土偶」とよばれるこれらの土偶は、関東地方を中心に広い範囲で見つかっています。とんがり頭にT字形の眉と鼻が特徴的です。こちらは、両腕を下げているものが多いようです。同時展示のアクセサリーからは、おしゃれな縄文人の姿を垣間見することもできます。



“出前授業”を実施中!

今年も、土器等の実物や各種の資料を準備して、“出前授業”を実施しています。

7月10日(水)、巣南町立巣南中学校の1年生に「縄文時代の生活」の授業をしました。藤橋村の戸入村平遺跡で見つかった土器や石器を見て、クラスみんなで縄文時代の人々の生活について考えました。実際に本物の土器や石器に触れて、どの子も感激していました。

- <生徒の感想より>
- ・実際に土器を見て、教科書で見るよりずっとそのころの生活が想像できました。縄文時代の人々は、土器を食物のために利用したり、埋葬のために使っていたことがわかり、とても驚きました。(K.O)
 - ・今日は、土器はどんなことに使っていたとか、本物の土器やおもりの石器などを見せてもらってとても楽しかったです。炭やすすなどで何年前のものかわかるなんてすごいと思いました。(S.O)



出前授業をご希望される場合には、センター調査部までお気軽にお問い合わせ下さい。